

公共的価値を支える 知としてのデザイン

「デザイン」という語は、造形や意匠にとどまらず、制度、情報、サービス、地域運営、教育、政策形成など、幅広い領域で用いられています。一方、その意味や役割は分野ごとに異なり、概念のずれが分野横断的な協働や公共的価値の創出を妨げることもあります。本シンポジウムでは、異なる分野からデザインをめぐる議論を交わし、公共的価値を支えるデザインのあり方と、学術と実践の未来を展望します。

日時

2026
9/15 火 15:00-17:00
オンライン開催



お申し込みはこちら
事前申込制・参加費無料



プログラム

第一部 分科会報告

- 01** デザインのミッション
近藤 存志
- 02** 土木・建設分野からみたデザインの課題と展望
田井 明

第二部 様々な分野から考えるデザイン

- 03** 視覚伝達と小文字のデザイン
大田 暁雄
- 04** 自然資本と評価学から考えるデザイン
馬奈木 俊介
- 05** 気候変動から考えるデザイン
江守 正多

総合討論

公共的価値を支える知としてのデザインの実践に向けて

コーディネーター：伊藤 香織 パネリスト：講演者

開会挨拶

佐々木 葉

閉会挨拶

小野 悠

登壇者



佐々木 葉
早稲田大学



近藤 存志
東洋大学



田井 明
福岡工業大学



大田 暁雄
武蔵野美術大学



馬奈木 俊介
九州大学



江守 正多
東京大学 / 国立環境研究所



伊藤 香織
東京理科大学